

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	ももっ子おかやま
住 所	岡山市北区中原45番地 1
電話番号	086-275-8333

事業所番号	3310103092
管理者名	瓶井 廣洋
対象年度	令和 4 年度

地域連携活動の概要	
<p>＜活動内容＞</p> <p>(場所) 岡山県岡山市北区中原45-1 (期間) 4月1日～3月31日 (活動概要) カットねぎの生産・販売 (利用者数) 4人/日 程度</p> <p>＜目的＞</p> <p>自社で生産したねぎを、身近な飲食店、販売店へ納品する事で、モチベーションが上がり、高い意識を持って生産活動を取り組む事ができる。 飲食店でのカット時間削減や、地元の食材を地域の方々に取り入れていただく事ができる。</p> <p>＜成果＞</p> <p>ねぎの品質を信頼していただけ、取引先より紹介していただき新たな納品先等増え、発注数が前年度よりアップした。 取引先からの要望が増えたため、利用者へのねぎの仕分け等周知する項目が以前よりも増え、今後の課題となっている。</p>	<p>＜活動の様子＞</p> <p>(桃太郎ねぎ 出荷作業)</p>  <p>(カットねぎ 計量・袋詰め作業)</p> 

連携先の企業等の意見または評価			
<p>地元の福祉企業であるももっ子おかやまと連携してカットねぎの販売をお手伝いできていること、大変ありがとうございます。納品先の評価も高く引き続き新規の納品先獲得に努めます。</p> <p>地域の飲食店でも、ももっ子おかやまのカットねぎを食べることができるようになり利用者のモチベーションアップに繋がっていれば嬉しいです。</p>			
連携先企業名	岡山薬品工業（中原ファーム）	担当者名	代表取締役 謙訪

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	ももっ子おかやま
住 所	岡山市北区中原45番地1
電話番号	086-275-8333

事業所番号	3310103092
管理者名	瓶井 廣洋
対象年度	令和 4 年度

(I) 労働時間	
①1日の平均労働時間が 7 時間以上	
②1日の平均労働時間が 6 時間以上 7 時間未満	
③1日の平均労働時間が 5 時間以上 6 時間未満	○
④1日の平均労働時間が 4 時間30分以上 5 時間未満	
⑤1日の平均労働時間が 4 時間以上 4 時間30分未満	
⑥1日の平均労働時間が 3 時間以上 4 時間未満	
⑦1日の平均労働時間が 2 時間以上 3 時間未満	
⑧1日の平均労働時間が 2 時間未満	
点	55
①80点 ②70点 ③55点 ④45点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点	

(IV) 支援力向上 (※)	
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会	
参加した職員が 1 人以上半数未満であった	○
参加した職員が半数以上であった	
②研修、学会等又は学会誌等において発表	
1 回の場合	○
2 回以上の場合	
③視察・実習の実施又は受け入れ	
いずれか一方のみの取組を行っている	
いずれの取組も行っている	○
④販路拡大の商談会等への参加	
1 回の場合	
2 回以上の場合	
⑤職員の人事評価制度	
人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○
⑥ピアソポーターの配置	
ピアソポーターを職員として配置している	
⑦第三者評価	
過去 3 年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。	
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等	
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものとの認証を受けている	
点	25
小計 (注2)	6
(※) 任意の 5 項目を選択すること	(注2) 8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点

(III) 多様な働き方 (※)	
①免許・資格取得、検定の受験勧奨に関する制度	
就業規則等で定めている	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
②利用者を職員として登用する制度	
就業規則等で定めている	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律	
就業規則等で定めている	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
④フレックスタイム制に係る労働条件	
就業規則等で定めている	○
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
⑤短時間勤務に係る労働条件	
就業規則等で定めている	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○
⑥時差出勤制度に係る労働条件	
就業規則等で定めている	○
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度	
就業規則等で定めている	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○
⑧傷病休暇等の取得に関する事項	
就業規則等で定めている	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○
点	35
小計 (注1)	8

(V) 地域連携活動	
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○
点	10

項目	点数							
労働時間	5点	20点	30点	40点	45点	55点	70点	80点
生産活動	5点		20点		25点		40点	
多様な働き方	0点		15点		25点		35点	
支援力向上	0点		15点		25点		35点	
地域連携活動	0点				10点			

合計	
165	点 / 200 点

(※) 任意の 5 項目を選択すること

(注1) 8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点

就労継続支援 A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ）

(I) 労働時間			
前年度（令和4年度）			
雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	32,514 時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	6,122 人
		利用者の1日の平均労働時間数	5.311 時間
(II) 生産活動			
会計期間（4月～3月）			
生産活動収入から経費を除いた額	32,583,235 円	利用者に支払った賃金総額	31,787,405 円
		収支	795,830 円
前年度（令和4年度）			
生産活動収入から経費を除いた額	35,114,955 円	利用者に支払った賃金総額	27,123,358 円
		収支	7,991,597 円
(III) 多様な働き方			
前年度（年度）における実績（全体表「(III) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めており、前年度の実績がある」と選択した場合に実績を記載）			
<p>①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度</p> <p>◎免許：資格取得、検定の受検勧奨 に関する制度を活用した人数名 ※取得を進めた免許等：</p> <p>制度の活用内容：</p>			
<p>②利用者を職員として登用する制度</p> <p>◎職員として登用した人数名 ※うち1名は雇用継続期間が6月に達している□ ※うち1名は前年度末日まで雇用継続している□ ※登用した日 年 月 日</p> <p>勤務形態： 就業時間： 時 分～ 時 分 職務内容：</p>			
<p>③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律</p> <p>◎在宅勤務を行った人数名 ※実施した期間： 月 日～ 月 日 就業時間（在宅勤務）： 時 分～ 時 分 職務内容：</p>			
<p>④フレックスタイム制に係る労働条件</p> <p>◎フレックスタイム制を活用した人数名 ※実施した期間： 月 日～ 月 日 就業時間（ロアタイム）： 時 分～ 時 分 職務内容：</p>			
<p>⑤短時間勤務に係る労働条件</p> <p>◎短時間勤務に従事した人数6名 ※実施した期間： R4年4月1日～R5年3月31日 就業時間（短時間）： 9時00分～14時00分 就業時間（短時間）： 8時00分～12時00分 職務内容： 農産物の生産・加工</p>			
<p>⑥時差出勤制度に係る労働条件</p> <p>◎時差出勤制度を活用した人数名 ※実施した期間： 月 日～ 月 日 就業時間（早出の場合）： 時 分～ 時 分 就業時間（遅出の場合）： 時 分～ 時 分 職務内容：</p>			
<p>⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度</p> <p>◎時間単位取得を活用した人数1名 ◎計画的付与制度を活用した人数名 ※取得した制度： 有給休暇の時間単位取得□ 計画的付与制度□ 取得した期間： R4年4月1日～R5年3月31日 取得日数・時間 4日 3時間</p>			
<p>⑧傷病休暇等の取得に関する事項</p> <p>◎傷病休暇等を取得した人数1名 ※取得した内容： 右急性性線内障発作 取得した期間： R4年5月8日～R4年5月31日 就業時間： 9時00分～16時00分 職務内容： 農産物の生産・加工</p>			
<p>(※) 当該制度等を活用した任意の1名の実績を記載</p>			
(IV) 支援力向上			
前年度（年度）における実績（全体表「(IV) 支援力向上」の各項目の取組ありとした場合に実績を記載）			
<p>①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会</p> <p>◎研修計画を策定している□ ◎研修実施回数 外部 3回／内部 0回 対象職員数 9人 うち研修受講者数 3人 ※研修名 岡山県障害者虐待防止・権利擁護研修 研修講師 youtube視聴 実施日・受講者数 1月 24日 2人 ※研修名 障害者の権利擁護・虐待防止に関する研修会 研修講師 津山地域障害者虐待防止センター 管理者 荒井恵介氏 実施日・受講者数 3月 9日 1人</p>			
<p>②研修、学会等又は学会誌等において発表</p> <p>◎研修、学会等又は学会誌等において 発表している回数 1回 ※研修、学会等名 月 日 ※学会誌等名 農林水産政策研究所 掲載日 10月 7日 発表テーマ：農福連携の取組の成功事例の 横展開による地域経済・社会への影響</p>			
<p>③視察・実習の実施又は受け入れ</p> <p>◎先進的事業者の視察・実習の実施している□ ◎他の事業所の視察・実習を受け入れている□ ※先進的事業者名：（株）旭化成アビリティ 実施日／参加者数 2月 22日 2人 ※他の事業所名 全国障害者雇用事業所協会 実施日／参加者数 3月 10日 8人</p>			
<p>④職員の人事評価制度</p> <p>◎職員の人事評価制度を整備している□ ◎当該人事評価制度を周知している□ 人事評価制度の制定日 H29年 4月 1日 人事評価制度の対象職員数 11名 うち昇給・昇格を行った者 11名 当該人事評価制度の周知方法 社内掲示により</p>			
<p>⑤ピアソポーターの配置</p> <p>◎ピアソポーターを配置している□ ◎当該ピアソポーターは「障害者ピアサポート研修」 を受講している□ ※配置期間 月 日～ 月 日 就業時間 職務内容</p>			
<p>⑥第三者評価</p> <p>◎前年度末日から過去3年以内に 福祉サービス第三者評価を受けている□ ※評価を受けた日 月 日 第三者評価機関</p>			
<p>⑦国際標準化規格が定めた規格等の認証等</p> <p>◎ISOが制定したマネジメント 規格等の認証等を受けている□ ※認証を受けた日 月 日 規格等の内容</p>			
<p>(※) 実績のうち1事例を記載</p>			

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。